



コンセプト

包容力と温かみのある家具を目指し「包み込まれる」をキーワードとして作成した。

座った時に視線の先に家具の一部が見えることで包み込まれているような感覚を感じられるようになっている。屋根があることで外観が小屋のように見えるだけでなく、実際に座ったときの心地よい程度の狭さにより隠れ家や秘密基地に感じるようになることができる。

家族、友人との時間やひとり静かに過ごす時間に寄り添い心地の良い空間を提供できる。

二人での利用

背もたれの部分は110度であり、座っていて心地の良い角度となっている。大の大人が座っても頭がぶつからないようになっているため、幅広い年代の人たちが利用することができる。一人が椅子に座り、一人が屋根にもたれかかって人とのコミュニケーションも取れる。



ぎゅっとホーム



【製作者】

木村 陽友
 小山 菜子
 佐藤 稟
 高野 蒼大
 松井 麻葉



屋根にのぼれる

子どもは高いところが好きなので、ひじ掛けを太くすることによって、安心してのぼれるようにした。そして、大人がのぼっても大丈夫なほどの安心感があるので、子供なら気軽にのぼり、スーパーマンの気分を味わえるだろう。また、お父さんやお母さんと同じ目線に立てるので、子供にとって特別な見晴らし台となると思う。

自分だけの空間を作る仕切り

頭の来る位置に仕切りを設けることによって他人の視線を気にせず、自分の時間に没頭できるため、心理的にリラックスできるだろう。また、光もある程度ささげることができるため、お昼寝の場所としても最適だ。完全に部屋にこもることがないが、少しだけ一人になりたいときに便利である。

